

あらゆる悩みを包み込み、希望を現実化させるヒント

船井幸雄の 魂が今 語りかけて きたこと

バイオレゾナンス医学会理事長
Y.H.C. 矢山クリニック院長

矢山利彦

船井勝仁 佐野浩一



多くの人を幸せに導いてきた船井幸雄のアドバイスがここに甦る
——長年交流してきた医師・矢山利彦が愛と魂で読みとく根源法則。
船井氏が託した本物の医療改革とは？ 船井流極意のすべてがここにある！



ヒカルランド

まえがき

ふないゆきお
船井幸雄先生

先生の思い出

やまとしひこ
(矢山利彦)



船井幸雄先生が逝去されて4年が過ぎました。

困ったこと、わからないことがあったらすぐに先生に相談できていたのに、もうそれはできません。寂しい気持ちは湧わいてきますが、昨年末に船井先生の教えが自分の中に生きているんだなーと自覚することがありました。少し恥ずかしいのですが紹介いたします。

それは道路の側溝に真っ逆さまに落ちてしまったことです。深さは2m弱で、切り立った土手の下にコンクリートの側溝があり、水が少し流れています。仕事が一と段落した安心感と疲労もあったのでしよう。土手の上に立っているポールに何気なく左

手を置いて、少し押したところ根元が腐っていて、全く抵抗なく折れ、そのまま頭から側溝に落ちてしまったのです。

気がついたら空を見ていて背中には冷たい水が感じられました。まず目が見えて意識がある。頸くびも動く、両手・両足も動く。大きな骨折や脳挫傷のうざしやうはなさそうだと自覚したとき、心から「よかったー」と肯定できたのでした。ソロソロと側溝から土手を這はい上がったときに、両手を合わせて、ご先祖様と神様に自然に「ありがとうございます」

でも側溝のコンクリートの角で左肋骨ろつこつを打撲していたため、大きな息をすると左脇腹に激痛が走りました。これは経験上肋骨が折れているかもしれないと思いましたが、肋骨の骨折は肺に刺さるほどひどくなければ放置しておくしかないのです、数日軽い鎮痛剤を服用し、放置しておきました。

それでも寝返りするのに、「ウツ」と声が出るほど痛いので、治療の方法をさまざまに工夫したところ、劇的効果のある療法をつくることができました。この方法は「スターループ」と名付けた気のエネルギーをよくするコイルと使い捨てカイロを組

み合わせたものです（166ページ参照）。さっそく周囲の人、そして患者さんに試してもらってびっくりするほど素晴らしい効果が上がってきました。

例えば、長年の関節痛が数時間で著明に軽くなる。延髄えんずいの血圧コントロール中枢をこれで温めると高い血圧が30分くらいで下がる。

一番びっくりしたのは、がん患者さんの痛みの部位に使うと、モルヒネ系鎮痛剤の使用量が5分の1となったり、肺がんが鎖骨に転移してシャツを着るのも顔をしかめていた人が、楽に着られて腕が上がるようになったりしています。

医学的データとして報告するには、もう少し時間が必要ですが、全く副作用のない方法なので、今後広めていきたいと思っています。

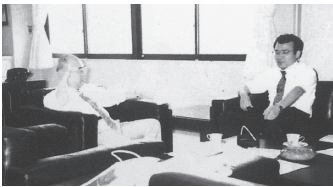
思い返せば、船井先生の最晩年の顎あごの痛みに対して医師として力不足で申し訳なかったという気持ちが湧いてきます。しかし、側溝に落ちた直後より「**肯定し、感謝し、プラスを生み出す**」という思考のプロセスは、船井先生の教えそのものではないかとも思うのです。それがなければ、大きなけがではなかったので、よかったとは肯定は

できたでしょうが、感謝やプラスを生み出すところまではいかなかったとしみじみ思うのです。

今回、船井フォーラムの最終回（「船井フォーラムザ・ファイナル」2018年4月21・22日）に間に合うように、船井勝仁様、佐野浩一様、ヒカルランドの小暮周吾様のお力により本書を世に出すことができました。船井先生の思想、哲学、教えを多くの人知ってもらおうほんの一助にでもなれば、船井先生への万分の一の恩返しになるかもしれないと、ひそかに嬉しく思っているところです。

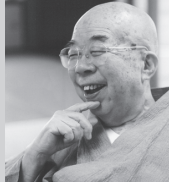
矢山利彦

（バイオレゾナンス医学会理事長、Y.H.C. 矢山クリニック院長）



昭和63年、(左)船井幸雄 (右)矢山利彦

船井幸雄のあゆみ



- 1933(昭和8)年1月10日 大阪府中河内郡恵我村別所(現松原市別所町)にて、父船井専太郎、母船井コギクの長男として生まれる。父専太郎は、農業を営む一方、隣接する熱田神社の宮司も務め、昭和22年頃から約10年にわたって村議会の議長も務めた知恵者であった。
- 1952(昭和27)年 大阪府立河南高等学校卒業。
- 1956(昭和31)年 京都大学農学部農林経済学科卒業。
- 1956(昭和31)年 財団法人安全協会産業心理研究所に入所。
- 1959(昭和34)年 安全協会の部下であった繁子夫人と結婚。
- 1960(昭和35)年 長男孝浩誕生。
- 1961(昭和36)年 父専太郎が死去。
- 1962(昭和37)年 妻繁子、急死す。このときの出来事から、人間や生命の探究を始める。
- 1963(昭和38)年 和子夫人と再婚。和子夫人の生き方は、その後の船井幸雄の考え方に大きな影響を与えた。
- 1964(昭和39)年 次男勝仁誕生。
- 1964(昭和39)年 株式会社日本マネジメント協会に入社。
- 1967(昭和42)年 同協会理事関西事務所長に就任。
- 1970(昭和45)年 株式会社日本マーケティングセンターを設立。代表取締役社長に就任。
- 1970(昭和45)年 長女ゆかり誕生。
- 1985(昭和60)年 商号を、株式会社船井総合研究所に変更。
- 1988(昭和63)年 船井総研が大阪証券取引所市場第二部(特別指定銘柄)に上場。コンサルティング会社として世界初の株式上場を果たす。
- 1990(平成2)年 船井総研の代表取締役会長に就任。
- 2003(平成15)年 船井総研の名誉会長に就任。
- 2004(平成16)年 船井総研が東京証券取引所市場第二部に上場。
- 2005(平成17)年 船井総研の最高顧問に就任。
- 2005(平成17)年 船井総研が東京証券取引所および大阪証券取引所市場第一部に指定替え。
- 2014(平成26)年1月19日22時1分 熱海にて永眠。享年81歳。

著作は400冊を超える。代表的なものに、『変身商法』(ビジネス社1972年刊、その後『船井流経営法』と改題)、『包みこみの発想』(ビジネス社1979年刊、サンマーク文庫1992年刊)、『未来へのヒント』(サンマーク出版1994年刊)、『エゴからエヴァへ』(PHP研究所1995年刊)、『百匹目の猿』(サンマーク出版1996年刊)など。

カバーデザイン 三瓶可南子

1 まえがき——船井幸雄先生の思い出（矢山利彦）

第1部

「肯定し、感謝し、プラスを生み出す」

船井流発想であらゆる悩みや病気を包み込もう！

矢山利彦

15 「単純明快」に病気をとらえたら「五つの病因論」が見えてきた！

17 「矢山さんはそれがよいよ」確信をもらった船井先生からのほげまし

20 「ツク」とは何か「コツ」とは何か

23 「ツキ」を呼び込むためには

26 船井幸雄先生曰く「素直で勉強好きでプラス発想」

29 患者の思考のあり方は病気が治る過程に関係する

32 長所伸展法で短所は自然に消えていく

35 人体における「長所伸展」とは自然治癒力を向上させること！

38 「長所伸展」の原則でリウマチは「ここまで」治癒可能になった！

41 病原体と戦う自分の体内の軍隊の働きを知ろう

44 船井幸雄先生は「絶妙の間」で答える達人だった

47 人間の長所である自然治癒力や免疫機能の検査法は未発達

50 「戦争とは武器の在庫一掃セールだからね」

53 医療における戦略発想は東洋医学の古典『黄帝内経素問』こうていだいけいそもんにあった

56 人にもお金にも情報にも好意と愛情を持って接しよう！

60 あなたの病気という現実、あなたがつくり出したもの

63 思考が現実化するバイオ・サイコキネシス（生体念動力）

66 武道にも、思いを実現する力「バイオ・サイコキネシス」が必要！

69 船井幸雄先生の極意「本質生命体に頼めばいいんだよ」

72 この世に神はいるのかいないのか？ 肝心なことは目には見えない！

75 自分自身に内在する治癒力を信じよう！

船井幸雄先生との出会い——フーチで矢山氏の人間性を調べると宇宙人の魂だった！

第2部

「今、船井幸雄の魂が語りかけてきたこと」
そして船井流の医療実践プロセス

矢山利彦・船井勝仁・佐野浩一

78 ネガティブ感情を伴う記憶をどうするか

80 辛さ、悲しさ、不条理、理不尽、すべて起こるべくして起こっている

82 船井幸雄先生は言われた「創造主の立場になって考えることだよ」

84 マクロの視点から見て、発想しよう

86 あなたは、自分の病気がどうして生じたのか考えたことがありますか

89 病気は急に生じない、発症するまで長いプロセスがある

92 尿中の腫瘍しゅようマーカー「ジアセチルスペルミン」によるがん検査

94 血中のがん由来の微量物質が検出できるようになった

97 「五つの病因論」について

- 107 論理を突き詰めてもわからない問題に対して、フーチを使うといい
- 111 直感力の人が失敗するパターン——物欲・色欲・権力欲
- 116 船井幸雄先生を通じて、医者にはない「単純明快」という思考を学んだ
- 122 「単純明快」とは「本質度を上げる」こと
- 126 「単純明快にせよ」という船井先生の提案から「五つの病因論」が誕生した
- 130 物事の本質を見る——戦争は武器の在庫一掃セール、医療は薬と医療器具のセール！
- 132 クリーンアップ・メディスンで「リウマチがここまで治った」
- 137 「船井先生だったら何と言うかな」といつも考えている
- 140 魂に目覚める医学——ころころ変わる「心意識」から変わらない「魂意識」への変容
- 144 魂を目覚めさせるには——「一いちれいし霊四し魂三元八力」という教え
- 149 デュアルCPUを回してOSを進化させれば、どんな状況にも対応できる！
- 154 一霊四魂——見える世界と見えない世界を追究する
- 158 知の構築原理と運用原理は異なる
- 161 外科医をやめた理由——がんを切っても切っても治らない！
- 164 ゼロ・サーチ——ダイオードを双方向に結合すると、ゼロの場ができる
- 171 「五つの人間行動の原理」——人は得をするときに行動を起こす

ウイルスを不活化する「シャボン玉石けん」のビックリ効果！

「シャボン玉石けん」を塗ると、確かにウイルスが減少する！

構築原理から新しい漢方薬をつくることに挑戦する！——「神農シャンプー」開発秘話

ゼロ・サーチは身体智の感度を100万倍に上げる

船井幸雄先生が亡くなったとき、確かに船井先生の声がリアルに聞こえてきた

魂との対話——もし今、船井幸雄先生を治療するならば

なぜ菌やウイルスは存在するのか、天地の理法から考える

「矢山さんが来た」と言っ、いつも喜んでいた船井幸雄

おわりに①——本物の医療改革、実践のステージはここから始まる！

(船井勝仁)

おわりに②——今も天国から、私たちに満面の笑みで観てくれている

(佐野浩一)

あとがき——船井幸雄先生の大きな愛に支えられて(矢山利彦)

校正 広瀬泉

編集協力 宮田速記

本文仮名書体 文麗仮名(キャップス)

第 1 部

「肯定し、感謝し、
プラスを生み出す」
船井流発想で
あらゆる悩みや病気を
包み込もう！

矢山利彦



矢山利彦

1980年、九州大学医学部卒。福岡徳洲会病院で救急医療を中心とした診療に携わり、福岡医師漢方研究会で東洋医学を学ぶ。漢方薬、鍼灸などの研究、実践を経て、気功に辿り着く。

1983年、九州大学医学部第2外科に入局。大学院博士課程にて免疫学を研究したあとに87年より佐賀県立病院に移り、好生館外科医長、東洋医学診療部長を歴任する。

2001年、Y.H.C. 矢山クリニックを開院。

2005年6月、医科と歯科、気功道場、自然食レストランを併設した新病棟を開院。西洋医学と東洋医学を融合させ、「気」という生命エネルギーを生かす総合的な医療を実践している。現在、パイオレゾナンス医学会を設立し、ドイツの波動医学の研究者たちと一緒に研究している。

空手道6段、合気道3段でもある。

矢山クリニック

<http://www.yayamaclinic.com/>

「単純明快」に病気をとらえたら
「五つの病因論」が見えてきた！

上手に生きるためには、「正しいルール」を知り「単純万能のコツ」を知ること。

船井先生が経営コンサルタントとしてさまざまな業種の社長さんに99%以上の確率で的確な答えを出してこられたその極意が、「正しいルール」と「単純万能のコツ」のようです。

先生に医療のこと、気功のこと、人間関係で気づいたことを話すと決まって「おもしろいね、でももう少し単純明快になるといいね」と言われました。それは数えきれないほどです。そこでまた考えるのですが医者の頭は教育の途上で、複雑なものを複雑に記憶して、すぐに取り出せる、まるで検索エンジンのように働くことが求められ

ます。そのため、「単純明快」の意味がなかなかわかりませんでした。

それでもあまり何度も「単純明快」にするように言われるので、少しアタマにきて、そんなに言われるならやってみようと思いたち、それまで診療していた数千人のカルテを見直して、病気を「単純明快」にとらえることができるか検討してみたのです。

すると驚くことに、病気の原因が五つに絞られてきたのです。これを「**五つの病因論**」（金属汚染、電磁波、化学物質、潜在感染、自分でつくる精神的ストレス）と言います。

考えたときは自分でも本当かなーと疑っていたのですが、1000名を超えるバイオレゾナンス医学会のドクターがこの「五つの病因論」に基づいて患者を診療してあげた素晴らしい結果が出ています。そのため「五つの病因論」は今では仮説というより真説となつています。これも船井先生の「単純明快」にしなさいという教えのおかげでした。

五つの病因について理解し、それが排除できれば病名に関係なく、症状の改善が見られます。そして病気にならないため、すべての人に知っていただきたいと思つてい

「矢山さんはそれがよいよ」
確信をもらった船井先生からの上げまし

「天地自然の理にしたがえば、『ツキ』がめぐってくる。『ツキ』を呼びこむことは、すなわち天地自然の理にしたがうこと」。

「天地自然の理」。わかるようでわからない、でも大切な生き方の極意が秘められているような言葉。先生がご存命のときにもっとよく聞いておきたかった言葉です。

今でも「天地自然の理」の意味がわかったとは言えませんが、先生はどんな質問に対しても即座に正しい答えを出すためには「天地自然の理」に沿って考えることが大切と言われていました。そこで思い出すのは、私が外科医をやめて、東洋医学と気の研究をする医者に向向しようかと迷っていたときのことでした。一人前の外科医にな

るにはかなりの気力、体力、知力、努力が必要です。知識だけではなく、手が動くこと、さらには武道にも似た身体智がないと、難しい手術はできません。

がんを治すには完璧な手術かんぺきをやり遂げることが最重要と思っていた私は、手術が上達するための努力を惜しみませんでした。そしてやっと外科医として一人前になり手術でがんを治療する毎日を送っていました。

手術がうまくいってがんから解放される患者さんもちろんおられました、手術はうまくいったにもかかわらず、すぐに再発する患者さん、また別の部位にがんができる患者さん、そして抗がん剤の副作用に苦しむ患者さんを目の前にして、何か根本の方針が違っているのではないだろうかと考え始めました。

がんからの解放という人類の希望の新天地に向かってトンネルを掘っていくとき、方向が正しければ多くの人々の努力を集積することにより、いつかはそこにたどり着くはず。しかし自分が今やっていることがその道に乗っているとは思えなくなってきたのです。

手術が好きで上手な医者はいくらもいません。でもこんなことを考え、東洋医学や気

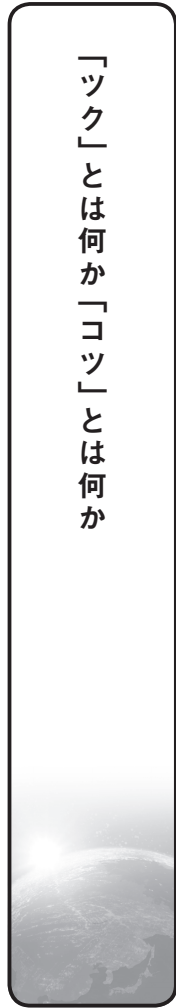
の医学によってがんや難病を治したいと考える医者が1人ぐらいいてもよいのではな
かろうかとも考えたのです。

今から20年以上も前のことで統合医学という概念もまだ明らかになっていませんで
したし、一人前の外科医になるまでに使った時間や努力を考えるとなかなか決心がつか
ないで迷っていました。そこで船井先生に「外科医をやめて漢方と気の医学を研究
実践する医者に向向したいのですが迷っているのです」と相談しました。

先生は即座に「矢山さんはそれがよいよ」言われました。あまりに確信を持って即
決だったので、「そうなんだー」と思え、自分の迷いも吹っ切れてしまいました。

以来、外科医をやめて全精力を漢方と気の研究に注いだおかげで微細エネルギー検
知装置である「ゼロ・サーチ」を発明でき、バイオレゾナンス医学を始めることがで
きています。船井先生にいつか「あんなに即決できたのはなぜですか」とお聞きしよ
うと思っていましたがお亡くなりになり、それはかないません。でも「天地自然の
理」に則^{のっと}って考えるならば、私には漢方と気の研究をする医者が合っているように思
える今日この頃です。

「ツク」とは何か「コツ」とは何か



船井先生は成功するには「ツク」必要がある。「ツク」には「コツ」があるとよく言われていました。

若い頃医師としての仕事は、できるだけ正確にかつスピーディに診断して、有効な治療を行うことと信じて何の疑いもありませんでしたので、「ツク」とか「コツ」という論理的に思えないことは考えたこともなかったし、興味ありませんでした。

ほとんどの医師、それも若い医師は同じ考えでしょうし、患者さんも、病気を治すには「ツク」ことが大切、「コツ」が必要とは考えないと思います。しかし、長い間医師として難しい患者さんを診ていると、不思議にラッキーが重なって危機的状况を越えていく患者さんと、医師と看護師が手を尽くしてもなかなか回復していかない患

者さんが存在していることは否定できないようです。

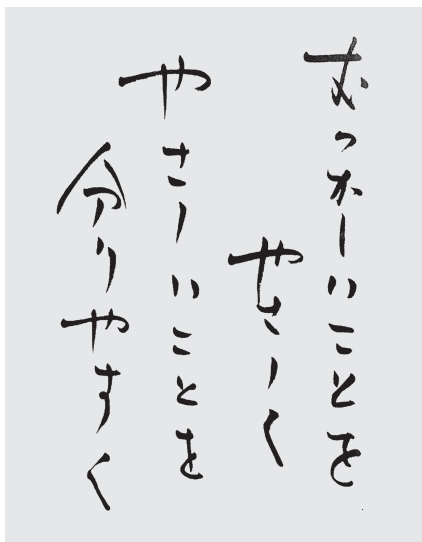
船井先生は、正しいコツは①単純②明快③万能④即効⑤卓効⑥副作用なしとよく言われていました。医療において①～⑥までのコツがあれば、それはそれは嬉しいことですが、なかなかありません。

しかし、バイオレゾナンス医学の根本のルールである「五つの病因論」により、病気を単純かつ明快に認識できるようになりました。がんからリウマチ、またさまざまな難病、高血圧症、糖尿病、高脂血症、高齢者の関節の痛みなど病名は全く異なっていますが、その症状の奥には必ず五つの病因が潜んでいます。

Y. H. C. 矢山クリニックには一万七〇〇〇を超えるカルテがあり、病名も症状も異なっていますが、五つの病因が必ず存在しているのです。ですからこの五つの病因を排除し、再度体に入ってこないようにすることが大切なのです。

これは体をクリーンにして健康を増進させることなので、現在病気がない人にも適します。この体のクリーンアップと同時に、病名に対して西洋医学の適切な治療も行うのです。

これで船井流のコツが見えてきました。次は「ツキ」について考えてみます。



『船井幸雄名言集』（船井本社グループ）より。

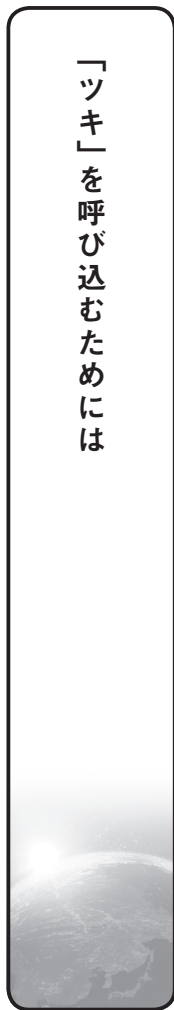
「ツキ」を呼び込むためには

「コツ」については、「天地自然の理」にかなった有効性の高い方法、そのような方法の精髓を理解することが可能です。何かを行うとき「コツ」を知っているか、知らないかで成果は大きく違ってくるでしょう。

しかし「ツキ」については、そのような現象はあるかもしれないが、論理的には説明しにくい、偶然にすぎないと言われればそれまでのような気がします。でも船井先生は大まじめに「ツキ」について説かれています。

ツキを呼び込むには、

① 現状で『ツク』状況にする



② 次に『ツク』ものをつくる

③ 『ツキ管理』をしてツキを落とさない

先生がご存命のときに「ツキ」についてもっと詳しく教えてもらってあげばよかったと悔やまれますが「ツキ」について深く考えるだけの認識の力がまだなかったので興味もそれほどなかったのかもかもしれません。

船井先生は漢字の「付き」「付き」ではなくカタカナで「ツキ」と書かれています。一般表現では、運がめぐるとか、力や能力がつく意味、また人や世の中の動きを支配する、人知、人力の及ばないなりゆき、まわり合わせを意味しているように思います。前述したように医師は論理的に思考すべきと教育されていますので、「ツキ」を期待して仕事をするようにはなっていません。

論理的思考は科学の基本です。これは因果律をその大前提に置いています。つまりある原因があるから対応する結果が生じる、その通りです、となります。しかしユングは意味のある偶然を「共時性」と名づけて新しい世界の見方を提案しました。

てんげしろう
天外伺朗さんに教えてもらった考えをもとに説明すると、ニュートンの提示する世界は因果律が成立する世界ですが、量子力学では素粒子の動きには因果律が破綻はたんしている部分があると言われています。

量子論をつくった物理学者の1人であるパウリと心理学者のユングは、共同で因果律を超えた共時律による科学を考えていたようですが、それは成功していません。天外伺朗さんがこのあたりについて詳しく本にして説明してくれていますので『無分別智医療の時代へ』（内外出版社）を参照してください。

「ツキ」という現象を論理的に考えると、このようにややこしい話になりますが、生き方として「ツク」にはどうすればよいのかを船井先生はもっと簡単に教えてくれました。

船井幸雄先生曰くいわ「素直で勉強好きでプラス発想」

「ツキ」とは何か、「ツク」にはどうすればよいのか。

「ツキ」「ツク」という一見論理的でない事柄が大切と船井先生はよく言われていました。その意味は当時はよくわかりませんが、振り返ってみると、船井先生とお会いした当時は流通業界以外ではまだあまり有名ではなかったので、比較的時間の余裕もあり、また私の住む佐賀に経営指導に来られることもあって、月に1回くらいお会いして、いろいろな話をさせていただきました。

先生と会って話すと思議にいい気分になり、安心ができ、何か自分にもできそうだと希望が湧いてきます。何かの発明をお見せすると「矢山さんは発明、工夫が

うまいねー」といつも言われるのでした。ただその後、「もう少し単純明快になるといいけどなー」と続くのです。

その言葉がバイオレゾナンス医学の根本原則「五つの病因論」を生み出すきっかけになったことは前述しました。船井先生にお会いしなかったら、自分はどうなっていただろう。漢方や鍼はりができて気功もできる多能な外科医として、中途半端に生きていたかもしれない。そう考えると船井先生よって大いに「ツキ」のある人生に変化したと今振り返って思うのです。

船井先生は、「**会社はトップである社長によって99%決まる**」とよく言われています。あるとき「コンサルティングの秘訣ひけつは何ですか」と質問すると、「それは社長と話して、社長の人間性が『**素直で勉強好きでプラス発想**』ならコンサルティングを引き受けるようにしているからだよ」と言われました。「そうではない社長のコンサルは引き受けないのですか」と聞くと、「その場合は『素直で勉強好きでプラス発想』になってもらうように説得する」と言われました。

そして「矢山さんは納得すれば至って素直だね」と言われたのです。

私は、「それは納得しないと、頑固という意味ですね」と返すと「そうそう」と笑っておられました。